

情報発信の更なる充実の検討について 検討結果の骨子

—広報広聴会議報告—（令和6年3月）

1 検討の経過

(1) 議長からの議会改革に関する諮問（令和5年7月4日） ※抜粋

情報発信の更なる充実や、わかりやすく府民の信頼を得られる議会運営など、府民に身近な議会を実現し、多様な主体の参画を促すための取組を検討するよう議長から議会運営委員会に諮問がなされた。

(2) 広報広聴会議における具体的検討項目

議長諮問を受けた議会運営委員会から、上記(1)の諮問事項のうち、「情報発信の更なる充実」に関する具体的な実施案の検討について、広報広聴会議に対し要請がなされ、議場見学や SNS による情報発信の充実について検討を行い、その結果をとりまとめた。

◆ 広報広聴会議の概要

- | | |
|---------|---|
| ア) 座長 | 青木 義照（自民） |
| 委員 | 田島 祥充（自民）、畑本久仁枝（維国）、成宮真理子（共産）、
増田 大輔（府民）、大河内 章（公明） |
| イ) 検討状況 | 計5回（令和5年7月～令和5年12月） |

2 検討結果（詳細は、報告書に記載のとおり）

(1) 議場見学の充実

府議会や議員の役割について理解を深め、さらには府議会を身近に感じていただくため、小学校・中学校・高校・大学などの生徒・学生が議場見学をする際、申込者からの希望に応じて、議員が議会の仕組みや役割などを説明するとともに、議員との意見交換を行う。

(2) SNS による情報発信の充実

- 府議会SNSの認知度向上を図り、発信力を高めていくため、議会情報はもとより親しみやすい情報（写真、動画の活用など）を目的、ターゲット、時期を見定めた上で、適切かつ効果的に発信していく。
- 議員個人のSNSでの「リポスト」や「シェア」、また各々の広報紙に府議会SNSのQRコードを掲載するなど、議員自身も府議会の情報発信に一層取り組む。
- 府広報課のSNSはフォロワーも多く発信力があることから、知事が出席される議会情報などに関して、府広報課SNSと連携した情報発信を行う。

※ QRコードは(株)デンソーウェーブの登録商標です